

2014年1月23日(木)

18:00 ~ 20:00

山田町中央公民館 小ホール

どなたでもご参加いただけます。

問合せ：水産商工課観光振興係 0193-82-3111

<講師紹介>

米地 文夫 (よねち ふみお)

1934年宮城県生まれ。

東北大学理学部地学科地理学専攻卒。理学博士。

山形大学、東北大学助教授、岩手大学教授を経て、

岩手県立大学総合政策学部教授。同大名誉教授。

地形学、景観論、環境政策が専門。宮澤賢治の足跡を

地理学で追究するハーナムキヤ景観研究所所長。

三陸ジオパークの主部は、北上山地が太平洋に臨む雄大で多様な景観の海岸です。船越半島と山田湾は、そのほぼ中央に位置し、しかも魅力と謎に満ちたエリアです。北上山地の地質は北の付加体（ふかたい、海溝へのプレートの沈み込みの際に列島側に付加された、いわばお土産）と南の古大陸断片（はるばる南からやってきた他の大陸の切れ端、いわばお客様）とに分かれます。海岸地形は北の高い段丘と急崖からなる海岸と、南の屈曲したいわゆるリアス海岸とに二分されます。山田町一帯は、地質的には北、地形的には南、という不思議な地域です。

赤平金剛の景観は、北山崎などの「海のアλπス」の延長で、石川県羽咋町の能登金剛、和歌山県串本町の高金剛をも凌ぐものです。私は「日本三金剛」という言葉を造りましたが、その随一と思っています。半島と湾とはいわゆるリアス海岸の特性を見せていますが、くびれのある半島、円形に近い湾は、ユニークです。なぜそうなったのかは、当日お話ししましょう。

このような地形地質は、美しさと豊かな海産物をもたらす反面、津波など災害が襲う危険さをも持っています。ぜひ、地元の自然の素晴らしさと課題とを知って頂きたいと思います。

山田町ジオパーク学習会 vol.1

山田湾・船越半島の成立と人々の暮らし



赤平金剛

山田湾空撮（第二管区海上保安本部提供）